

JENESYS2018 ASEAN 招へいプログラム第5陣
スポーツ交流（サッカー）の記録 対象国：メコン5か国

1. プログラム概要

対日理解促進交流プログラム「JENESYS2018」の一環として、メコン5か国（カンボジア、タイ、ベトナム、ミャンマー、ラオス）より高校生及び各国サッカー協会役員123名が2018年10月3日～10月10日の日程で来日し、「スポーツ交流（サッカー）」をテーマとしたプログラムに参加しました。

一行は、日本サッカー協会（JFA）の協力の下、福島県のナショナルトレーニングセンターJヴィレッジにおいて、日本チーム（U-17日本代表、U-17湘南ベルマーレ、学校法人尚志学園尚志高等学校）を加えた交流試合を行い、同世代の青年間の友好を深めるとともに、日本のサッカー環境や魅力を体験しました。10月9日には、東京にて、安倍晋三内閣総理大臣及び「日メコン首脳会議」に出席の各国首脳へ表敬訪問を行いました。また、各々の関心事項や体験についてSNSを通じて対外発信を行いました。帰国前の報告会では、訪日経験を活かした帰国後のアクション・プラン（活動計画）について発表しました。

【参加国・人数】 5か国・123名 （内訳）カンボジア 24名、タイ 25名、ベトナム 25名、ミャンマー25名、ラオス 24名

【訪問地】 東京都、福島県

2. 日程

- 10月3日（水） 来日、東京都から福島県へ移動、【オリエンテーション】
- 10月4日（木） 【日本理解講義の聴講】
 講師：日本サッカー協会国際部副部長 松永 隆 氏
 【スポーツ交流】国別練習
- 10月5日（金） 【スポーツ交流】交流試合
- 10月6日（土） 【スポーツ交流】交流試合
- 10月7日（日） 【スポーツ交流】交流試合、参加各国の関係者との交流会
- 10月8日（月） 【スポーツ交流】交流試合、福島県から東京都へ移動
 【ワークショップ（報告会準備）】
- 10月9日（火） 【成果報告会】
 【表敬訪問】安倍晋三内閣総理大臣、メコン5か国首脳（於：迎賓館）
 【テーマ関連の視察】日本サッカーミュージアム
- 10月10日（水） 【最先端技術視察】日本科学未来館（タイ、ベトナム）
 帰国

3. プログラム記録写真

	
10月3日【オリエンテーション】	10月4日【日本理解講義の聴講】
	
10月5日～8日【スポーツ交流】 交流試合	
	
10月7日 【参加各国の関係者との交流会】	10月9日【成果報告会】
	
10月9日【表敬訪問】安倍晋三内閣総理大臣、メコン5か国首脳（於：迎賓館）	10月9日【テーマ関連の視察】 日本サッカーミュージアム

4. 参加者の感想（抜粋）

◆ カンボジア学生

日本に来てから心に残ったことは、日本人が日本人同士および他の国の人に対する礼儀と尊重の気持ちが強いということです。衛生面でもとても秩序正しく、どこへ行ってもごみの分別のためのごみ箱が3つ並んでいました。水道水もとてもきれいで衛生的でした。最新の技術が駆使されていました。そして災害からの復興の速さは目を見張るものがあり、例えば私たちが訪れた福島は、7年前に地震と津波による大被害を受けましたが、とても美しく、整ったサッカーグラウンドがありました。

◆ タイ学生

この度、JENESYS2018 日メコンスポーツ交流に参加でき、多くの経験と知見を得ることができました。日本は発展したとても美しい国でした。7年前に被災した福島も復興を遂げているように見受けられました。このような意義深い場所でサッカーができることを誇りに思いました。今回、私たちは多くの試合を経験しました。中でも、尚志高校、湘南ベルマーレ、日本代表チームの試合ぶりにはとても感動しました。彼らはとても規律正しく、高い精神力で真剣に戦っていました。その上、コーチや監督を敬い、チームメイトを信頼し合っていました。だから、あのような素晴らしいプレーができるのだと確信しました。私も彼らを見習ってタイチームの向上のために尽力したいと思いました。

◆ ベトナム学生

日本は、火山や災害が多く、先進技術も多く、清潔で美しい国であるというイメージを持っていました。来日して多くのことを経験した後、「自動車が左通行、大浴場が多い、トイレにテクノロジーが導入されパラダイスのように便利、ゴミが分別されている」ことに更に気づきました。そして、日本人は協調性があり、親しみやすく、特に、仕事に対して常に真剣に取り組んでいることにも気づきました。帰国後、（日本で学んだ）時間厳守を推進し、日常生活や仕事への責任感を持つことが習慣になるようにしたいと考えています。今回の有意義なプログラムに参加する機会を与えてくださいました日本政府やお世話になった方々に心からお礼を申し上げます。

◆ ミャンマー学生

JENESYS2018 のプログラムや大会では、たくさん良い経験できました。食べ物、生活、伝統文化など日本のレベルの高さを、実際に体験することができました。日本のスポーツは世界的なレベルであり、科学技術もとても進んでいると感じました。実際に、日本のチームとプレーしてそのレベル高さを体験しました。また、私たちにはJリーグでプレーすることも可能であることを聞きました。私はいつか、Jリーグで活躍できるように頑張ります。

◆ ラオス学生

今回の日本訪問を通じて、感動したことは以下のようなことです。日本の涼しい気候、文化、日本人の良いマナー、最先端の技術：近代的なトイレ、ごみの分別をして清潔な寝室などです。日本は、経済発展し、自然に恵まれていて、たくさん木があって緑が多いです。交通システムがよく、皆が秩序、規則を守っています。計画的に仕事をするので、時間を効率的に使っているようです。日本人は忠実で、マナーが良く、皆がハンサム・美しいです。Jヴィレッジ（サッカーのナショナルトレーニングセンター）の宿泊施設は、清潔で美しい特別なところで、2002FIFA ワールドカップの際にはアルゼンチ

ン代表が泊まった場所でもあり、国際的な基準を持ったピッチがいくつもあります。このような機会を与えてくれた JENESYS2018 に感謝します。帰国後、これらの経験を自分のサッカーの改善に活かし、ラオスの人々に秩序、マナー、清潔などを守るようにさせたいです。

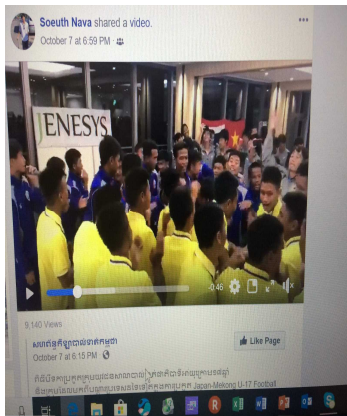
◆ ラオス引率者

日本のスポーツ、文化に関する講義は理解しやすかったので感動しました。また、日本でプレーできるように努力することを各国の選手たちに語り掛けてくれて、本当に励みになって良かったです。ラオスのチームは日本の尚志高校のチームとの試合ができ、忍耐強く、良い高校サッカー選手たちのプレーを見ることができて感激しました。選手を病院に連れて行った経験から、日本の病院の素晴らしいサービス、医者への患者への対応の良さ、病院内の清潔さなどに感激しました。

◆ タイ学生

日本の規律、そして日本のサッカーに感動しました。日本人はフィールドの内と外の両方で大変規律正しいです。お互いに助け合い、チームワークで、プロフェッショナルとしての自己管理ができています。そこが私の国とは大きく異なっているということは一目瞭然です。私は日本のサッカーのプレイスタイルが大好きです。明確な方向性を持っています。私はタイで、日本のＪリーグのチームのプレーを見て学んでいました。彼らは非常に高いレベルで、素早いプレーをします。助け合い、力を合わせてプレーしています。そして重要なことは「背が高く頑強な外国人選手に対してひるむことなく勇敢にプレーする」ということです。今回プレーして、私は日本のサッカーが非常に高いレベルであるということを知りました。国代表の上位選手だけでなく、下位の選手もそうですし、日本の高校のサッカー部でさえも非常に能力のある素晴らしいチームです。小さなスペースから突破することが上手く、チームワークでプレーします。最初にボールをとらえるのが上手く、質の高いシュートを放ちます。私は日本のサッカーの質の高さを知りました。帰国後、これまでよりハードなトレーニングをして練習に励み、規律正しい生活を送り、そしていつの日か必ずＪリーグでプレーしたいと思います。

5. 参加者の対外発信

	
(カンボジア)U17 日本代表との試合が出来て、僕たちの夢はいつかＪリーグのピッチの上でプレーすることです。	(カンボジア) 夕食交流会にてパフォーマンスを通じて友情を培ったあの夜は忘れられないでしょう。

 Songchai Thongcham อยู่กับ Channarong Promsrikaew และ คนอื่นๆ อีก 12 คนที่ Jヴィレッジ 4 ต.ค. เวลา 20:56 · 🌐 ขอบคุนประสบการณ์ดีๆที่ได้ยาก 🙏 #JENESYS2018 #JICE #JAPAN #THAILAND #SportsExchangeFootball 	วันนี้ได้แลกเปลี่ยนความรู้กับโค้ชทีม โซชิ อดีตผู้ฝึกสอนทีมชาติญี่ปุ่นรุ่นไม่เกิน 17 ปี การพัฒนาเยาวชนในประเทศไทยญี่ปุ่นจะฝึกให้เด็กวิ่งจ๊อยและวิเคราะห์สถานการณ์ เพื่อให้ให้นักเตะรู้จักคิดและนำไปใช้เวลาลงไปเล่น นอกจากนี้นักเตะจะต้องเล่นเป็น เล่นเก่ง เรียนดี มีน้ำใจรู้จักช่วยเหลือผู้อื่นด้วย ในสนามแข่งนักเตะจะสัมผัสบอลประมาณ 20% อีกประมาณ 80% นักเตะจะต้องคิดและรู้จัก Recovery ร่างกายตัวเอง ขณะแข่งด้วย 🇹🇭🇯🇵 #Jenesys 2018 #Japan #Jice 
(タイ) 得難い経験をありがとうございました。	(タイ) 今日は尚志高校の監督と U-17 日本代表の過去の指導者と意見交換しました。日本のユース育成は、判断力と状況を分析する力を育むことに重きを置き、選手が自ら考え、フィールドでのプレーに活かすことに力を入れています。また、勉強とスポーツの両方に優れ、思いやりの心を持ち他者を助けることができるように選手を育成しています。
 Trần Quang Thịnh Thứ Ba lúc 20:28 · 🌐 Japan 2018 🇯🇵 1 đất nước tuyệt vời ❤️ #JENESYS2018 #JICE #JAPAN #VIETNAM 	 Trung Hiếu is 🥰 feeling glad with Duy and 2 others at Fukushima Japan. October 3 at 20:03 · 🌐 Ready.....👏👏👏 #jenesys2018 🇯🇵🏆❤️ 
(ベトナム) 日本は素晴らしい国です。	(ベトナム) 福島を訪問しました。
 Myanmar Football Federation October 6 at 13:56 · 🌐 ဂျပန် ခံစစ်သုတေသန ဖိတ်ခေါ်ခံရခြင်း Japan 3 - 1 Myanmar (FT) Vietnam 5 - 0 Cambodia(FT) 	 Si i hu Win is with Nyi Nyi Latt and 3 others. October 4 at 19:39 · 🌐 Really inspiring J-Village National Training Center. This venue was used by the Argentina National Team as their official camp for the 2002 FIFA World Cup. Now we (Myanmar U17 Team) are here together with Bellmare (Japan), Cambodia, Japan, Laos, Sho... See More 
(ミャンマー) 日本メコン地域交流試合について、日本 3-1 ミャンマー (FT)、ベトナム 5-0 カンボジア (FT) でした。	(ミャンマー) Jヴィレッジはアルゼンチン代表チームも 2002 年ワールドカップの際に公式キャンプ場として利用したそうです。今、我々ミャンマーU-17 代表チームは、湘南ベルマーレ、カンボジア、ラオス、日本代表、尚志高校、タイ代表チームと一緒にいます。

7. 帰国後のアクション・プラン発表（抜粋）

【カンボジア】帰国後、私たちは「日本での経験をシェアする」というプロジェクトを実行します。 ・11月4日に、私たちが所属するサッカーアカデミーの選手たち全員へ、私たちの経験をもっと知ってもらい、サッカー界の強化を図るために、映像や写真を用いてセミナーを開催し、日本の経験を共有します。
【タイ】帰国後は以下の事を実行に移し、タイサッカーの発展のために寄与したいと思います。具体的には以下の通りです。 ・毎回の練習を試合と同じように真剣に行います ・時間を厳守し、準備段階から自己責任であることを認識します ・練習用及び試合用の用具やユニフォームを協力して管理します ・お互いを敬い練習や試合に最善を尽くすよう精神力を鍛え、間違ったことをした時は注意します ・タイナショナルチームに相応しい選手やコーチであり続けます ・タイナショナルチームの選手としての行動規範の草案を練り、本規範を策定します。その後、コーチやスタッフの指揮の下に、行動規範に忠実に従って行動します
【ベトナム】日本の文化「時間厳守」を推進します。 ・ベトナムに帰国後、日常生活や仕事で起こるさまざまな出来事に対し、参加メンバー全員が開始時間より5分～10分早めに到着するようにします。それにより自分自身や社会に対する責任感が高められ、自分や社会の更なる成長につなげます。
【ミャンマー】「友情／絆／フレンドシップ」というプロジェクトを実施します。具体的には、チーム同士がより親しく、友情を深められるよう、また、サッカーには一つの言語しかないということをより明確にするため、プログラムの成果・経験をfacebook、出版物、Instagramにより発信します。
【ラオス】ラオスの人々にもっと日本の文化、性格について知ってほしいので、所属先の学校やラオスのサッカーセンターの友人等にグループ facebook で、今回のプログラム経験を共有します。